

# 気骨ある人材 合志から

明治から昭和初期にかけて合志市合生(旧西合志村)にあった私塾「合志義塾」をテーマにしたシンポジウムが22日、同市御代志の市西合志図書館であり、同塾が果たした役割などについて、研究者や漫画家らが意見を交わした。

マンガミュージアムがシンポ

## 「義塾」の役割語る

隣接する合志マンガミュージアムで開催中の企画展に合わせ、市が主催。約90人が熱心に聞き入った。

民俗学者宮本常一の資料を収蔵する山口県の周防大島文化交流センター学芸員、高木泰伸さん

旧菊鹿町出身は「宮本は戦後3回同塾を訪ね、地に足を付けて生きる『土性骨』の座った人材を育てた取り組みを高く評価した」と紹介。

歴史大河漫画「風雲児たち」などの作品で知られる漫画家みなもと太郎さん

ユージアムの橋本博館長と対談。「塾創設者が私塾にこだわり、生徒たちの中で一緒に学ぼうとした姿勢は素晴らしい」と語った。(宮崎あずさ)

熊本高専の伊藤利明教授は「都市と地方の格差を問題視し、都市モデルでなく地域特性に応じた豊かさを大事にした点で、今の地方創生の先駆け」と述べた。



合志義塾をテーマにしたシンポジウムで発言するみなもと太郎さん(右)。左は橋本博館長＝合志市